

平成24年度 大阪教育大学「学生表彰」学生業績

学長表彰（3名）

○川辺 芙美子（カワナベ フミコ）大学院 健康科学専攻6回生

【業績概要】

水上競技部に所属し、平泳ぎを専門種目とし、2012F I N A競泳ワールドカップ・ドバイ大会 50m 決勝2位 100m 決勝2位 200m 決勝1位、同ワールドカップ・ドーハ大会 50m 決勝2位 100m 決勝8位 200m 決勝1位、2011年度競泳国際大会代表選手選考会 50m 決勝5位、第88回日本選手権水泳競技大会 100m 決勝3位 200m 決勝3位、など課外活動において特に顕著な成果をおさめられました。

○進藤 伴予（シンドウ トモヨ）特別支援教育教員養成課程4回生

【業績概要】

手話サークルに所属し、学生チャレンジプロジェクト「しゃべり場」2011年度代表を務めるなど、聴覚障害のある学生との交流と情報保障活動に携わってきました。

また、本学が平成24年4月に開設した「障がい学生修学支援ルーム」の学生スタッフ責任者として、ルームの立ち上げに協力、ルーム主催および学生主体の企画に取り組み、日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウムでは、本学の取組を全国に発信するポスター発表を行うなど、障がいのある学生への修学支援において、本学に特に顕著な貢献をしたことが認められました。

○乾 彩友美（イヌイ アユミ）教養学科 スポーツ・健康科学・生活環境専攻4回生

【業績概要】

女子ハンドボール部に所属し、第17回女子ジュニア世界選手権大会、ジャパンカップ2012に日本代表選手として出場。平成22年度、平成24年度の全日本学生ハンドボール選手権大会では、本学を2度の優勝に導く原動力となり、大会の優秀選手にも選出されるなど課外活動において特に顕著な成果をおさめられました。

学長特別表彰（4名4団体）

○篠崎 文哉（シノザキ フミヤ）大学院 英語教育専攻3回生

【業績概要】

国内外の学会において研究発表を行い、その成果が論文集や学会誌に掲載されました。カナダのヴィクトリア大学での授業を受講し、TEFL(Teaching English as a Foreign Language)を取得するなど、英語教育分野において顕著な業績と成果を収めました。

また、大阪府主催のブリティッシュカウンシル企画運営の事業に参加し、英国大学への進学を目指す高校生の勉学・留学の支援活動等を行う他、附属池田小学校における英語教育と英語教育研究の支援を行い地域と大学に貢献しました。

○平 拓也（タイラ タクヤ）教養学科 スポーツ・健康科学・生活環境専攻4回生

【業績概要】

水上競技部に所属し、バタフライを専門種目とし、「F I N A競泳ワールドカップ東京2012」

において、50mと100mの2種目に決勝進出し、男子50m6位 100m8位入賞など、課外活動において特に顕著な成果をおさめられました。

○小森田 渚（コモリダ ナギサ） 教養学科 スポーツ専攻3回生

【業績概要】

第46回全日本女子学生剣道選手権大会・第42回関西女子学生剣道選手権大会で優勝されました。

また、第6回全日本女子学生東西対抗試合では西軍の中堅を努め優勝に貢献するなど、課外活動において特に顕著な成果をおさめられました。

○小林 奈央（コバヤシ ナオ） 教養学科 スポーツ専攻1回生

【業績概要】

日本代表としてトルコ・イスタンブールで行われた世界短水路選手権大会において、女子200mバタフライ決勝8位 メドレーリレー3泳者として6位（日本記録樹立）などの成績を収めました。

また、第88回日本選手権水泳競技大会では、女子100mバタフライ決勝2位 200m決勝8位、第88回日本学生選手権水泳競技大会では、女子100mバタフライ決勝2位など、課外活動において特に顕著な成果をおさめられました。

○学生チャレンジプロジェクト「障害学生支援プロジェクト」

【業績概要】

障害学生支援プロジェクトは、聴覚障がい学生と本学学生の交流の場を設け、広く障がい理解活動に取り組むとともに、柏原キャンパスのバリアフリーマップ作りに取り組み、本学における障がい理解及び啓発活動の促進などに貢献されました。

○体育会女子ハンドボール部

【業績概要】

平成24年度は、全日本学生ハンドボール選手権大会において優勝、西日本学生選手権大会において準優勝、関西学生春季リーグ戦において優勝など、課外活動において特に顕著な成果をおさめられました。

○体育会アメリカンフットボール部

【業績概要】

平成24年関西学生アメリカンフットボールリーグ（2部）において優勝し、1部校との入替戦に勝利し創部以来初の1部リーグ昇格を果たしました。その成果はマスコミに大きく取り上げられ本学のイメージアップに貢献するなど、課外活動において特に顕著な成果をおさめられました。

○体育会合気道部

【業績概要】

平成24年10月、OBを交えての稽古後、OBが意識不明となり、直ちに合気道部員が消防署、保健センターに連絡、本学看護師及び合気道部員が胸部圧迫心臓マッサージ及びAEDによる電気ショックを施行し、迅速かつ的確な「救命の連鎖」による人命救助に貢献しました。

また、このことが高く評価され、平成25年1月に柏原羽曳野藤井寺消防組合から表彰されるなど、本学の普通救命講習会の成果を示してくれました。